

## プーチン：すべての国家はウクライナの主権を尊重せよ

【訳者注】これはプーチンの国連演説前の、米 CBS 記者との対談の内容であり、これを書いている時点で彼の国連演説は終わっている。プーチン氏の人柄が世界を変えるであろうことはほぼ間違いない。彼の誠実な“正論”には誰も心を打たれるだろう。次の西側記者団へのスピーチを見ても、彼の真剣で、積極的な態度が伝わってくる。

<http://www.informationclearinghouse.info/article42961.htm> 「プーチン：誰も我々に耳を傾けようとさえしないではないか」

この CBS 記者との対談で、彼は、ウクライナのクーデタを誰と誰が、どのようにして仕掛けたのか、すべて細かく知っていると言うが、脅しとして言うのではなく、実はアメリカの“パートナー”が話したのだというところに注目すべきだ。(6/15 掲載の) イタリア人記者とのインタビューでも、それがうかがえる。最初、記者は、世評による先入観でプーチンに対するが、終わるころにはすっかりプーチン・ファンになっている。

シリアの情勢がどうなっているのかは、プーチンの口から聞くのが一番わかり易く、かつ納得できる。予定されているオバマとの対談でも、きっと彼の感化力が働くものと思われる。

当たり前のことだが、ウソやプロパガンダで世界を支配することはできない。日本のメディアも、それに付き合うのをやめる時期である。世界のマスメディアも、徐々に脱皮しつつあるという、学術論文のような詳しい調査報告があるが、ただしこれは、日本のメディアは調査していないと断っている。

RT (Russia Today)

September 28, 2015



ウクライナを含めて、すべての国家の主権は認められるべきだ、とロシア大統領ウラジミール・プーチンは CBS の番組「60 Minutes」で話し、2014 年のヤヌコビッチ大統領の追放に、アメリカが関わっていたことを「確実に」知っていると言った。

古参のジャーナリスト Charlie Rose との対談で、プーチンは、ロシアはウクライナの主権を尊重すると言いつつ、「過去、現在、未来のいついかなるときでも、ロシアは合法的な政府の転覆を目指す、どんな行動にも参加したことはない」と付け加えた。

彼はさらに、モスクワは「他の国も、ウクライナをはじめ、他国の主権を尊重してほしい」と思っている。主権を尊重するということは、クーデタ、憲法に反する行動、そして合法的な政府の非合法的な転覆を許さないということだ」と言った。

憲法に反する手段によって問題に当たるということは「絶対に受け入れられないことだ」と彼は、2014 年 2 月のウクライナのクーデタに触れて言った。

プーチンはさらに、アメリカが、ビクトル・ヤヌコビッチをある方法を用いて追い出したことは「ちゃんと知っている」と言い、「誰と誰が相談し、誰が、前大統領を失脚させた人々と共謀したか」また「それがいつ、どこで行われたか」も、モスクワは承知していると述べた。

「我々は、どのようにして協力が与えられたか、その報酬がいくらだったかも知っています。我々は、どの地域とどの国が訓練を主宰し、それがどのように行われたか、インストラクターが誰だったのかも知っています。我々はすべてを承知しています。いや実を言うと、我々のアメリカのパートナーは、それを秘密にしていないのです」と彼は言った。

<https://youtu.be/M8qttUJrl20>

ウクライナ紛争が始まって以来、西側は、“ロシアの脅威”を口実として、東欧の NATO 諸国の軍事支出増加を正当化し、米軍をヨーロッパに駐留させる理由としてきた。ウクライナとの国境近くのロシア領土内にロシア軍を配置していることが、ロシア軍がウクライナ紛争に関わっているという議論に利用されてきた。

しかし、プーチンは繰り返し、ロシア軍はウクライナ紛争に関わっていないと声明している。「アメリカの戦略的核兵器がヨーロッパにあるということ、これを忘れないでほしい」と彼は言った。

「これは、アメリカがドイツを占領したことを意味するのか、それともアメリカは第二次大戦以後、占領をやめておらず、占領軍を NATO 軍に変えただけということですか？ 一方、我々が我々の軍隊を、どこかの国との境界地域に配備すると、あなた方はこれを犯罪と見るわけですか？」

アメリカは、他のどんな国より以上に、その外交政策を、国内の「政治闘争」に用いてきた、と彼は言った。

「選挙運動がやがてアメリカでは始まります。彼らを使うのは常に、ロシア・カードか、他の何かです」と彼は説明した。

プーチンが、やがてニューヨークを訪問し、2005 年以來はじめて国連総会で演説し、オバマ大統領と差し向かいの会談を行う予定になっていることを踏まえて、ローズは、ロシア大統領に、彼のアメリカでのイメージについて話した。

**関連記事**：「第 70 回国連年次討論会が、安保理改革の要請と、予定されるプーチン - オバマ会談の中で始まる予定」 <http://www.rt.com/news/316630-unsc-debate-putin-obama-unga/>

ローズは、プーチンが「盛んに話題になっている」こと、また共和党大統領候補者 Marco Rubino が彼を“ギャング”と呼び、ある者は“ツァーリ”と呼んでいると話した。

「どうして私がギャングですか、かつて KGB で働いていたのに？ それは全く馬鹿げています」とプーチンは応えた。

「支持者や味方、また政敵が、あなたをどう呼ぶかが問題なのではありません。重要なのは、国家の利益のために、何をしなければならないとあなたが考えるかです——あなたをそのような地位、ロシアの首長のようなポストにつけた国家に対して。」

プーチンは、月曜日の国連総会のセッションで、スピーチを行うことになっている。この演説では、テロリズムとの戦いやシリア危機の問題をはじめ、さまざまな国際的問題が取り上げられるであろう。